

〈平成27年（2015年）基準〉

# I 調査結果の概要

## 1 概況

令和2年の農産物価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合価格指数（以下「総合」という。）は111.0で、前年に比べ1.6%上昇した。

また、農業生産資材価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合は、101.8で、前年に比べ0.1%低下した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）÷農業生産資材価格指数（総合）×100）は109.0となり、前年に比べ1.6%上昇した。

図1 農産物価格指数の推移（平成27年=100）

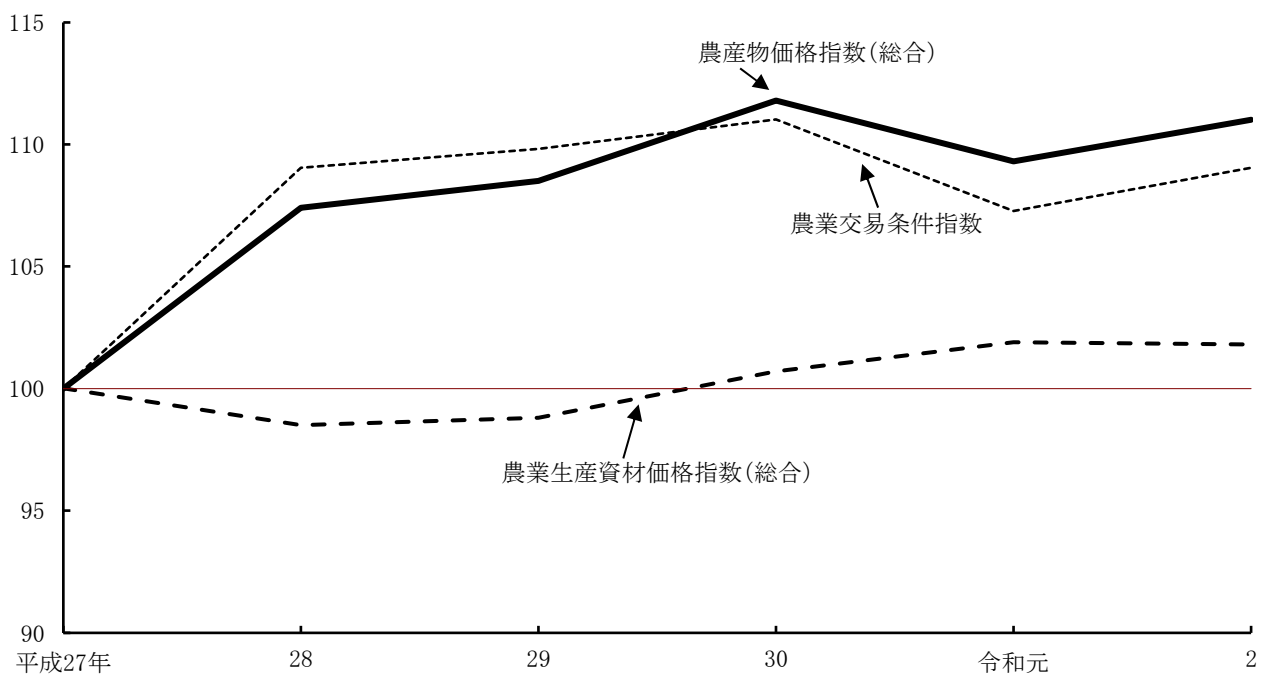


表1 農業交易条件指数の推移

平成27年=100

区 分	平成27年	28	29	30	令和元	2	対前年騰落率（2/元）
農産物価格指数（総合）①	100.0	107.4	108.5	111.8	109.3	111.0	% 1.6
農業生産資材価格指数（総合）②	100.0	98.5	98.8	100.7	101.9	101.8	△ 0.1
農業交易条件指数①÷②×100	100.0	109.0	109.8	111.0	107.3	109.0	1.6

図2 農産物価格指数(総合)の月別推移(平成27年=100)

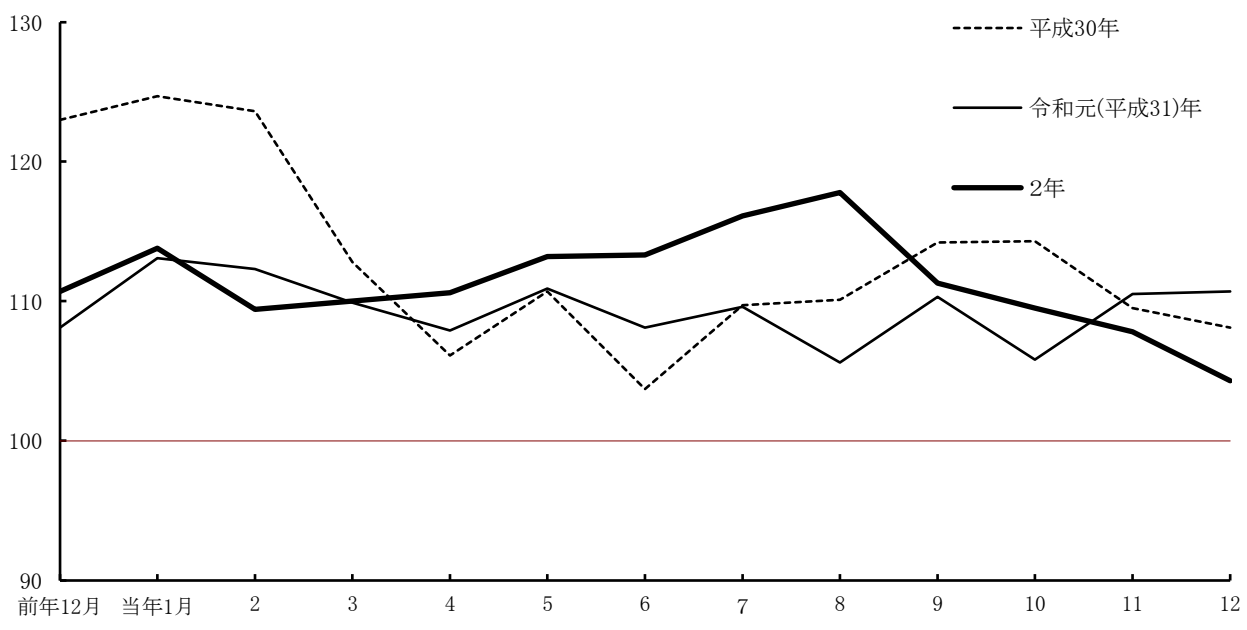
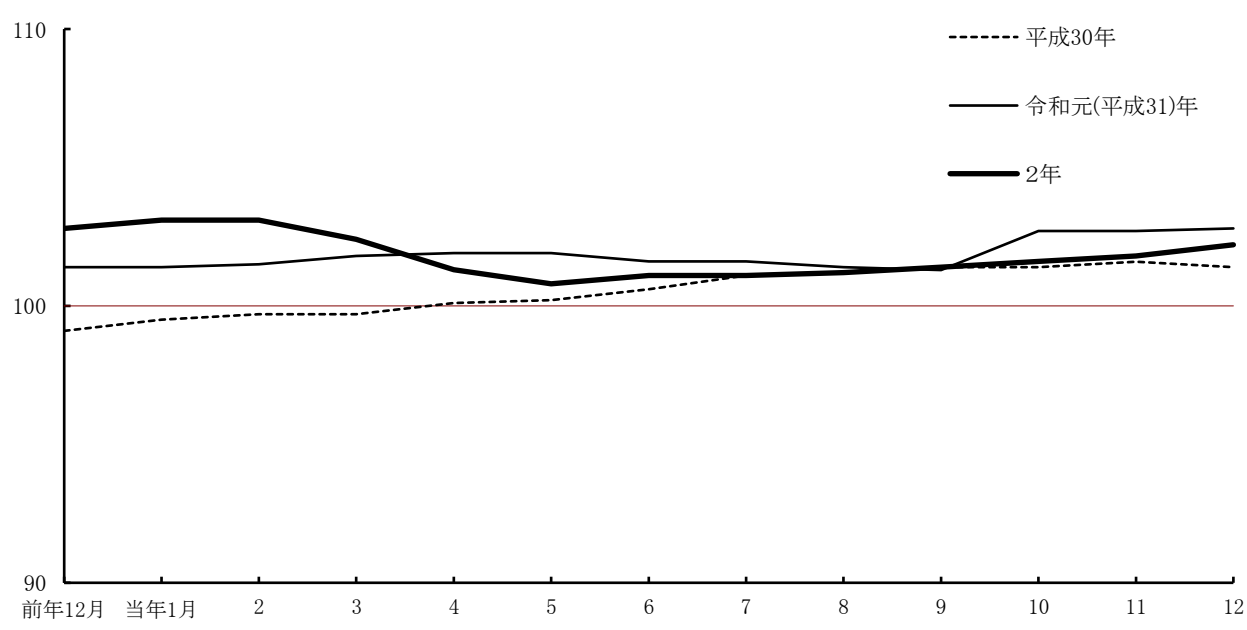


図3 農業生産資材価格指数(総合)の月別推移(平成27年=100)



## 2 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は111.0となり、前年に比べ1.6%上昇した。

これは、畜産物、米等の価格が低下したものの、果実、野菜等の価格が上昇したことによる。

主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

(1) 米は128.9で、前年に比べ1.7%低下した。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響等による中食・外食事業者向けの販売数量の減少等により、価格が低下したことによる。

(2) いもは108.3で、前年に比べ21.7%上昇した。

これは、ばれいしょで、暖冬による生育前進で出荷が早まったこと等により、5～7月の出荷量が減少し、価格が上昇したこと等による。

(3) 野菜は98.9で、前年に比べ4.3%上昇した。

これは、7月の長雨や日照不足、8月の猛暑や少雨の影響による生育不良により、多くの品目で価格が上昇したこと等による。

(4) 果実は133.1で、前年に比べ14.3%上昇した。

これは、なしで、開花時期の低温による着果不良等の影響で出荷量が減少し、価格が上昇したこと、また、りんごで、前年の台風等の影響により出荷量が減少し、価格が上昇したこと等による。

(5) 花きは101.1で、前年に比べ7.3%低下した。

これは、きく、ばら等の切り花で、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント需要等が減少し、価格が低下したこと等による。

(6) 畜産物は102.0で、前年に比べ2.1%低下した。

これは、肉用牛、和子牛等で、新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要等が減少し、価格が低下したこと等による。

表2 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率						寄与度
	平成 27年	28	29	30	令和 元	2	平成 27年	28	29	30	令和 元	2	
農産物（総合）	100.0	107.4	108.5	111.8	109.3	111.0	% 5.3	% 7.4	% 1.0	% 3.0	% △ 2.2	% 1.6	% 1.56
うち米	100.0	112.4	122.5	130.4	131.1	128.9	△ 10.3	12.4	9.0	6.4	0.5	△ 1.7	△ 0.46
いも	100.0	108.8	94.2	85.4	89.0	108.3	26.4	8.8	△ 13.4	△ 9.3	4.2	21.7	0.38
野菜	100.0	107.8	100.7	107.6	94.8	98.9	12.9	7.8	△ 6.6	6.9	△ 11.9	4.3	0.97
果実	100.0	110.2	110.6	114.4	116.4	133.1	13.0	10.2	0.4	3.4	1.7	14.3	1.68
工芸農作物	100.0	98.5	110.2	102.8	99.5	95.0	△ 8.3	△ 1.5	11.9	△ 6.7	△ 3.2	△ 4.5	△ 0.10
花き	100.0	103.7	101.5	103.8	109.1	101.1	8.2	3.7	△ 2.1	2.3	5.1	△ 7.3	△ 0.37
畜産物	100.0	104.2	106.2	103.7	104.2	102.0	7.1	4.2	1.9	△ 2.4	0.5	△ 2.1	△ 0.58
うち鶏卵	100.0	92.8	94.0	85.4	80.2	81.3	4.3	△ 7.2	1.3	△ 9.1	△ 6.1	1.4	0.01
生乳	100.0	101.5	103.0	103.7	105.6	106.1	4.2	1.5	1.5	0.7	1.8	0.5	0.06
肉畜	100.0	99.2	101.9	96.3	96.9	97.1	5.5	△ 0.8	2.7	△ 5.5	0.6	0.2	0.02
子畜	100.0	123.1	125.2	122.6	121.9	108.1	18.3	23.1	1.7	△ 2.1	△ 0.6	△ 11.3	△ 0.56

注：寄与度は、令和2年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

### 3 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は101.8となり、前年に比べ0.1%低下した。

これは、前年10月の消費税率引上げ等の影響により、農機具、賃借料及び料金等の価格が上昇したものの、畜産用動物、光熱動力の価格が低下したことによる。

畜産用動物、光熱動力の指数の動向についてみると、次のとおりである。

(1) 畜産用動物は106.4で、前年に比べ10.3%低下した。

これは、肉用牛子牛で、新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要等が減少し、価格が低下したこと等による。

(2) 光熱動力は99.1で、前年に比べ7.2%低下した。

これは、重油、ガソリン等で、新型コロナウイルス感染症の影響による世界経済の停滞にともなう原油安により、価格が低下したこと等による。

表3 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率						寄与度
	平成 27年	28	29	30	令和 元	2	平成 27年	28	29	30	令和 元	2	
農業生産資材（総合）	100.0	98.5	98.8	100.7	101.9	101.8	0.2 △	1.5	0.3	1.9	1.2 △	0.1 △	0.10
うち種苗及び苗木	100.0	100.6	101.1	101.5	102.8	105.5	2.7	0.6	0.5	0.4	1.3	2.6	0.14
畜産用動物	100.0	118.0	121.2	118.3	118.6	106.4	14.3	18.0	2.7 △	2.4	0.3 △	10.3 △	0.70
肥 料	100.0	98.2	92.7	94.3	98.0	98.8	1.8 △	1.8 △	5.6	1.7	3.9	0.8	0.08
飼 料	100.0	93.1	92.4	96.1	97.3	97.9	1.4 △	6.9 △	0.8	4.0	1.2	0.6	0.11
農業薬剤	100.0	100.0	99.4	99.4	100.5	102.3	1.1	0.0 △	0.6	0.0	1.1	1.8	0.14
光熱動力	100.0	86.5	95.7	107.0	106.8	99.1	△15.1	△13.5	10.6	11.8 △	0.2 △	7.2 △	0.69
農 機 具	100.0	100.2	100.2	100.3	100.8	102.4	0.5	0.2	0.0	0.1	0.5	1.6	0.30
自動車・同関係料金	100.0	100.0	100.1	100.5	101.7	103.7	1.0	0.0	0.1	0.4	1.2	2.0	0.10
建築資材	100.0	100.7	101.3	102.4	104.4	106.1	1.2	0.7	0.6	1.1	2.0	1.6	0.06
賃借料及び料金	100.0	100.7	100.3	100.8	101.6	103.8	1.3	0.7 △	0.4	0.5	0.8	2.2	0.23

注：寄与度は、令和2年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。